

## ■アドミッションポリシーとは

平成 28 年度の大阪府公立高等学校入学者選抜から、各学校がアドミッションポリシーを作成し公表することとしています。

このアドミッションポリシーは、学校が求める生徒像、期待する生徒の姿を示したものであり、志望校を決定する大きな判断材料の一つになるとともに、出願時に自己申告書を作成する際に参照するものです。

入試において、総合点（学力検査の成績等＋調査書中の評定）等とともに、このアドミッションポリシーに基づいて、受験生の合否を判定することになります。

(大阪府教育委員会資料から抜粋)

### 成城高等学校 定時制の課程 アドミッションポリシー

本校は、全教職員が生徒の状況をよく知り、一人ひとりを大切にし、生活環境や学びの歴史に十分配慮しながら、きめ細やかな指導を行います。

総合学科で将来の希望や興味・関心に応じ、2年次から「ものづくり」「情報技術」「生活デザイン」「教養」の系列により多彩な授業を設定しています。通信課程併修制度により3年で卒業もできます。また、府立東大阪高等職業技術専門校との連携や学校外における学修の単位認定も実施しています。

- 1) 勉学と仕事等を両立させて高校生活を送り、将来は地域で貢献し活躍したいと意欲を持つ生徒
- 2) 前向きにゆっくりでも継続して、学校生活に取り組むことができる生徒
- 3) 他人に対して思いやりや優しい心を持ち、明るくあいさつできるなど、豊かな人間関係を築こうとすることができる生徒